

休眠預金活用の流れ



出典：JANPIA「2020年度資金分配団体募集のお知らせ」パンフレット 2020年5月版

申込方法 【申込締切】12月8日(水)

- Webフォームからお申し込みください。 <https://forms.office.com/r/J1fCBgKVG8>
- 下記の内容をE-mailにてご送付ください。申込書にご記入いただき、FAX/郵送でお送りいただくことも可能です。



ふりがな お名前	ご所属 ・役職	TEL
		E-mail

参加方法: いずれかに を入れてください。

オンライン参加
 <パブリックビューイング会場> 安城市民交流センター ワクティブこまき

※パブリックビューイング会場にご参加の際はマスクの着用をお願いいたします。セミナー当日に発熱や倦怠感のある方、風邪の症状がある方は参加をご遠慮ください。よろしくお願いいたします。

※ご記入いただきました個人情報は、当事業以外に使用いたしません。応募多数の場合、他の参加方法をご案内する場合がございます。

お申込み・お問合せ 特定非営利活動法人ボランティアネイバース (担当: 中尾、加古)

〒461-0005 名古屋市東区東桜2-18-3 コープ野村東桜702
TEL: 052-979-6446 (平日10時~18時) FAX: 052-979-6448 E-mail: vns@vns.or.jp

休眠預金活用の実践事例から学ぶ、社会的インパクト評価と助成金活用

活動資金の獲得を検討されているNPOやNPO支援者の皆さんを対象に休眠預金に係る助成金の活用について学ぶセミナーを開催します。

参加無料

日時 2021年12月15日(水) 13:30~16:30

参加方法 オンライン (Zoom) またはパブリックビューイング会場から選べます。(先着順)

《オンラインで参加》定員50名

※オンライン参加のみなさまには、12月12日までにお申込時にお知らせいただいたメールアドレスへオンライン (Zoom) のURLをお送りします。ご自身のパソコン等からアクセスしてください。当日は、13時15分よりアクセス可能となります。

《パブリックビューイング会場から参加》

- ・安城市民交流センター 定員24名
安城市大東町11-3 TEL:0566-71-0601
[交通] JR東海道本線安城駅徒歩7分
- ・ワクティブこまき (こまき市民交流テラス) 定員30名
小牧市小牧 3-555 ラピオ 2階 TEL:0568-48-6555
[交通] 名鉄小牧線小牧駅徒歩5分

対象 活動資金の獲得を検討されているNPO、NPO支援者等

プログラム

《講演》指定活用団体「データからみる休眠預金活用事業の現況」

講師: 芥田 真理子さん (一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (JANPIA) 企画広報部)

《事例報告①》資金分配団体

「愛知県での助成プログラム2019-2022年度の資金分配団体の取り組みから」

報告者: 三島 知斗世さん (一般財団法人中部圏地域創造ファンド (CCF) プログラムオフィサー)

《事例報告②》実行団体

「ウィズコロナ時代のがん相談システムの構築~オンラインでつながる支えあう乗り越える~」

報告者: 花井 美紀さん (特定非営利活動法人ミーネット 理事長)

《グループワーク・質疑応答》「助成申請の準備に向けて」

司会進行: 中尾 さゆり (特定非営利活動法人ボランティアネイバース 理事長)



よくあるQ&A

Q：休眠預金等活用制度って何ですか？

A：2009年1月1日以降の取引から10年以上、その後の取引のない預金等（休眠預金等）を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度です。
国、地方公共団体が対応困難な社会の諸課題の解決を図ることと、民間公益活動の担い手の育成と民間公益活動に係る資金調達の環境を整備することを目的としています。

Q：助成事業に応募するための情報は、どこで探せばよいですか？

A：JANPIAのWebサイト内の「公募について」に、随時、公募開始情報が掲載されます。助成によって、公募の期間・締切日時、選定する団体数、助成額、助成期間、助成の対象となる活動、対象地域、申請様式・方法が違いますのでご注意ください。



Q：公募のスケジュールは？

A：今年度の資金分配団体による実行団体の公募・選定は2021年11月以降、助成金交付や実行団体における事業開始は2022年3月末までに準備が整い次第、順次開始されます。

Q：助成事業の特徴は？

A：通常枠の事業実施期間は最長3年と複数年の事業についての助成を前提としています。また、助成対象経費の費目についての制約が少なく、事業に必要であると認められる経費であれば人件費も含め、予算に計上することができます。
一方、休眠預金事業では成果の実現が求められるため、申請時から成果を意識した事業や評価を設計することが必要となります。また、事業実施中は他の助成事業よりも高度な事務管理、ガバナンス・コンプライアンス体制を求められます。



データでみる休眠預金活用事業

■区分ごとの実行団体の申請・採択状況

2019・2020年度において全国で424事業（内愛知県内30事業）が採択されています。

	申請事業数	採択事業数	採択率 (%)	助成予定額 (万円)	内、愛知県内採択数
実行団体の公募	1,383	424		329,911	30
2019年度通常枠	501	142	28.3	196,970	11
2020年度通常枠※	198	32	—	—	—
緊急支援枠(初回)	621	229	36.9	133,941	19
緊急支援枠(随時)※	63	21	—	—	—

※はデータ集発行時点では選定中

■団体種別ごとの採択事業数

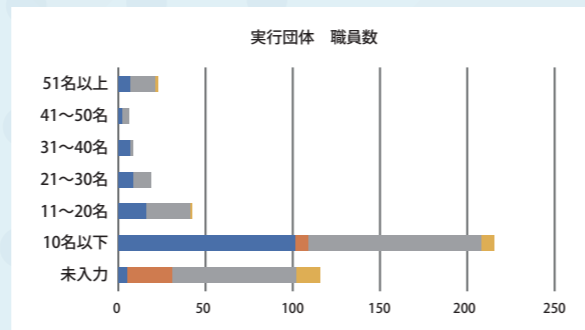
団体種別にみると、NPO法人の割合が45.5%と、最も高くなっています

団体種別	事業数	%
合計	424	—
内、認定NPO法人	35	8.3
内、NPO法人	193	45.5
内、任意団体	32	7.5
内、一般社団法人	59	13.9

■実行団体の職員数

実行団体の職員数は10人以下が過半数を占めており、比較的小規模の団体における活用実績があることがわかります。

■ 19年度 通常枠 ■ 20年度 通常枠
■ 20年度 緊急支援枠 ■ 20年度 緊急支援枠(随時)



出典：(一財)日本民間公益活動連携機構「休眠預金活用事業の現況<データ集>」2021年6月発行

団体・講師等 紹介

指定活用団体 一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)

2018年7月に一般社団法人日本経済団体連合会(経団連)により設立。休眠預金等活用制度において、民間公益活動促進業務の中心となり、事業計画等に基づき資金分配団体を選定し、資金分配団体に助成を行う「指定活用団体」として、2019年1月に内閣総理大臣から指定された。2020年度には通常枠20団体、新型コロナウイルス対応緊急支援助成36団体の資金分配団体を採択し、休眠預金の助成を行っている。

《講演》

「データからみる休眠預金活用事業の現況」

講師：芥田 真理子さん

一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA) 企画広報部

- 休眠預金助成の仕組み
- 全国の助成状況
- 社会的インパクト評価の枠組
- 2021年度の公募

資金分配団体 一般財団法人中部圏地域創造ファンド (CCF)

あいちモリコロ基金の理念と成果を継承し設立された一般財団法人として助成活動に取り組む。2019年度及び2020年度に資金分配団体に選定され、2019年度は通常枠として12の実行団体(愛知県内は6団体)に、2020年度は新型コロナウイルス緊急支援事業として20の実行団体(愛知県内は16団体)に休眠預金を原資とした助成を行っている。2021年度は通常枠の資金分配団体に選定されている。

《事例報告①》

「愛知県での助成プログラム2019~2022年度の資金分配団体の取り組みから」

報告者：三島 知斗世さん

一般財団法人中部圏地域創造ファンド(CCF) プログラムオフィサー

- 実行団体への助成・伴走支援の実施状況
- 社会的インパクト評価の進め方
- 2021年度の公募

実行団体

特定非営利活動法人ミーネット

がん患者のための情報の整備やピアサポーターの養成、がん患者・家族支援のための地域間ネットワーク化の促進に関する事業を行っている。コロナ禍では助成財源を活用し、オンライン相談に力を入れている。2020年度に資金分配団体の一般財団法人中部圏地域創造ファンドより、新型コロナウイルス緊急支援事業助成を受け「ウイズコロナ時代のがん相談システムの構築オンラインでつながる支えあう乗り越える」を実施。

《事例報告②》

「ウイズコロナ時代のがん相談システムの構築～オンラインでつながる支えあう乗り越える～」

報告者：花井 美紀さん

特定非営利活動法人ミーネット 理事長

- 助成事業の紹介
- 申請に至る準備
- 採択後のよかったこと、苦労したこと
- 資金分配団体の伴走支援による団体の変化

《グループワーク》「助成申請の準備に向けて」

グループに分かれ、「助成申請に当たって知りたいこと」について質問や感想共有も交えて話し合いを行います。

司会進行：中尾 さゆり

特定非営利活動法人ボランティアネイバース 理事長